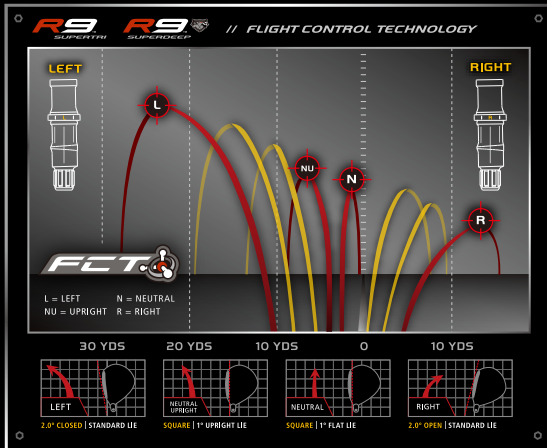


R9 SUPERTRI/R9 SUPERDEEP TP ドライバー 40yards

弾道イメージ図



FCT機能と取り扱いに関する詳細は、マニュアル本体を参照ください

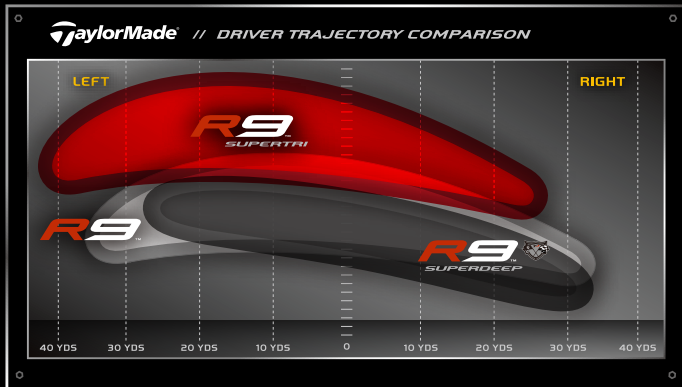
*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー 「L」ポジションをご選択ください

左打ちプレイヤー 「R」ポジションをご選択ください

弾道比較イメージ図



MWT
MOVABLE WEIGHT
TECHNOLOGY®

1g LIGHT WEIGHTED
(軽めのウェイトカートリッジ)

16g HEAVY WEIGHTED
(重めのウェイトカートリッジ)

ウェイトカートリッジ
ポジション



R9
SUPERTR1



1 LEFT



2 CENTER



3 RIGHT

R9
SUPERDEEP



1 LEFT



2 RIGHT

弾道を変える

ウェイトカートリッジの交換方法は、マニュアル本体のP15を参照ください



FCT / MWT® Manual

MWT®
MOVABLE WEIGHT
TECHNOLOGY®

目次	P1
FCT/MWT [®] の特長について	P2
各部・パーツの名称	P3
トルクレンチ	P4
クイックインストラクション	P5-13
FCT:ヘッドの仕様(ロフト角・ライ角・フェースアングル)変更の方法	P14
3 WEIGHTS MWT [®] 弾道イメージ	P15
ウェイトカートリッジの取り外し、取り付け方法	P16
損傷を防ぐために	P17-18
注記	P19-20
スイングウェイトについて	P21

※本マニュアル内に使用されている写真はイメージです。実際の商品とは多少異なる場合があります。

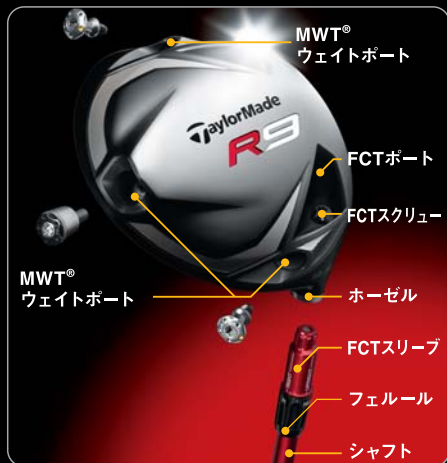
FCT/MWT®の特長について



テーラーメイドのR9ドライバー、R9 MAXドライバー、R9 フェアウェイウッドおよび RESCUE TP (注1)、XR FCTドライバー (注2) クラブには、全てロフト角、ライ角、フェースアングルを簡単にチューニング (調節) できる革新的な TaylorMade® Flight Control Technology (FCT) が搭載されています。FCTは個々の好みに応じてクラブヘッドの仕様を変えることを可能にします。FCTの左右最大弾道調整幅はR9 ドライバーが40ヤード、R9 フェアウェイウッドが36ヤード、RESCUE TPが30ヤード、R9 MAXドライバー、XR FCTドライバーが60ヤードとなっています。(P9~12参照) またR9 ドライバーには TaylorMade® 独自の Movable Weight Technology™ (MWT®) も搭載されています。(P6、P15参照) この技術はクラブヘッドの重心位置を変え、様々な弾道を可能にします。FCTとMWT®はショットのコントロールを最大限に高め、より正確により大きな距離をカバーすることを可能にします (R9 ドライバー は左右最大75ヤードの弾道調整幅を可能にします)。

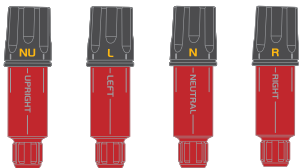
*注1・2 2009年春季販売モデル

各部・パーツ名称



ご注意

赤い部分がクラブヘッド装着時に完全にホーゼル内に入って見えないことを確認してください。
赤い部分が見えている時は正しく装着されていませんので、正しく装着し直してください。



トルクレンチ



FCT用トルクレンチ

ボディカラー：ホワイト
40インチポンド



MWT[®]用トルクレンチ

ボディカラー：イエロー
30インチポンド

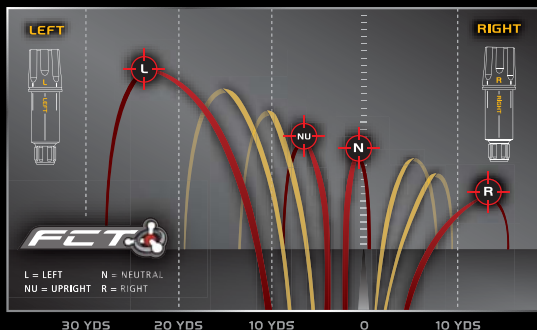


MWT[®]用トルクレンチ

ボディカラー：シルバー
30インチポンド

**FCTとMWT[®]を安全にご利用いただくためには、それぞれ専用のトルクレンチが必要です。
FCT用のトルクレンチはMWT[®]にも使用できますが、MWT[®]用ではFCTはご利用できません。**

クイックインストラクション



新しい白いFCT用トルクレンチを使用し、FCTスリーブのポジションを変更することでクラブのロフト角、ライ角、フェースアングルを簡単に変えることができます。上の弾道イメージ図中に赤色で示されたレフト/左(L)、ニュートラル・アップライト(NU)、ニュートラル(N)、ライト/右(R)および黄色で示されたLとNU間の2つの位置とNとR間の2つの位置を含む8つの弾道を可能にする8つのポジションから選んでください。(P13参照) 前述のとおりFCTは各モデルに応じて左右30~60ヤードの範囲で弾道変更を可能にします。

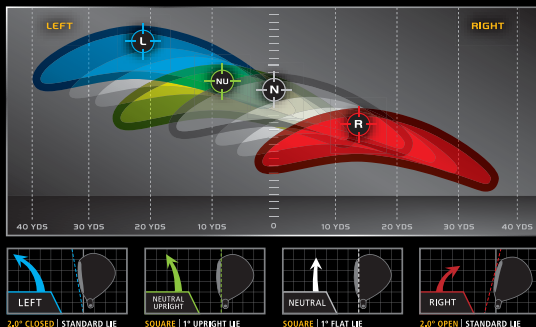
*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使用及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー …… 「L」ポジションをご選択ください

左打ちプレイヤー …… 「R」ポジションをご選択ください

クイックインストラクション



FCT
FLIGHT CONTROL TECHNOLOGY



MWT
MOVABLE WEIGHT
TECHNOLOGY®

R9ドライバーは工場出荷時にヘッドのトゥ、ヒール側には軽いウェイト、ヘッド後方に重いウェイトが装着され、また、FCTスリーブはニュートラル(N)のポジションに設定されており、ニュートラルな弾道を可能にしています。また、重いウェイトをヒールに取り付けることで右から左の弾道、ヘッドの先端に取り付けることで左から右の弾道を可能にしています。R9ドライバーは前述のとおりMWT®+FCTにより最大75ヤードの弾道調整幅を可能にします。

*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

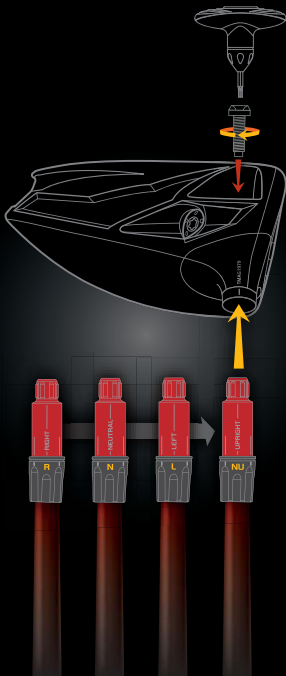
- 例) 右打ちプレイヤー …… 重いウェイトをヒールに取り付けることで右から左の弾道
左打ちプレイヤー …… 重いウェイトをヒールに取り付けることで左から右の弾道

Flight Control Technology (FCT)

クラブヘッドの調節方法

1. グリップエンドを地面につけ、シャフトを垂直に立てます。
2. 白いFCT用トルクレンチでFCTポートのFCTスクリューを緩め(ねじは緩めてもヘッドから外れません)、クラブからFCTスリーブを取り外します。(P8: 図1-a、1-b参照)
3. シャフトの先端のFCTスリーブに印された8つのポジションから望ましいものを選び、クラブヘッドの裏のシリアルナンバーと合わせます。(P8: 図2-a、2-b参照)
4. 選択したポジションをシリアルナンバーと合わせながらFCTスリーブの赤く塗られた先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込んでください。(P3: ご注意参照)
5. クラブヘッドとシャフトを押さえながら、FCTスクリューを垂直に、FCT用トルクレンチが「カチッ」という大きな音をするまで回転させしっかり締めます。(P14参照)

※注意: シャフトの取り付けは最大トルク値が40インチポンド(クラブヘッドをFCTスリーブに固定するのに必要)の白いFCT用トルクレンチで行ってください。(P4、P14参照)



クイックインストラクション

図1-a



FCT用スリーブは工場出荷時にすでにシャフト先端に固定されています。



FCTスクリューはFCTリング (FCTスクリュー脱落防止用) によりFCTポート内に残ります。

図1-b



ホーゼル

FCTスクリューは図のようにホーゼルの内側のFCTリングにより脱落しません。

図2-a



シリアルナンバー

例)

図2-aはニュートラル(N)ポジションに正しく装着されている状態です。

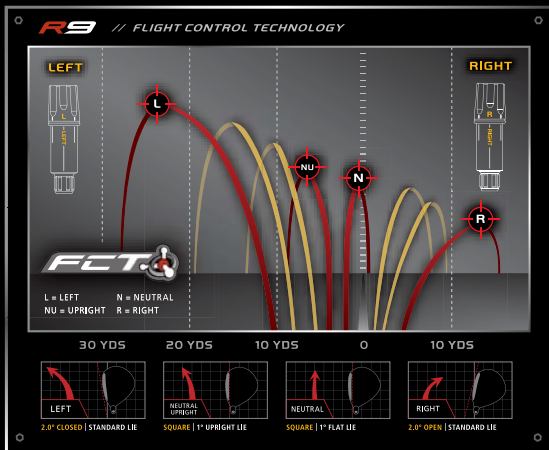
図2-b



例)

図2-bはシャフトが正しく装着されていない状態です。図2-aのようにFCTスリーブの赤く塗られた先端部分が完全に隠れるまでFCTスリーブを挿入してください。

弾道チャート：R9 ドライバー 40yards



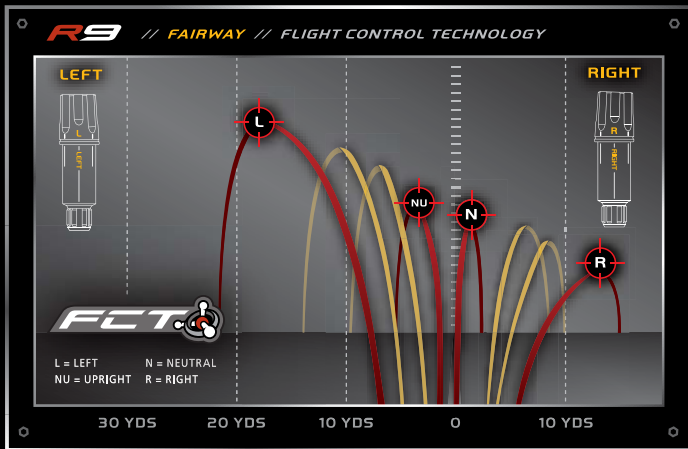
FCT弾道チャートの詳細はP13参照

*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー …… 「L」ポジションをご選択ください
左打ちプレイヤー …… 「R」ポジションをご選択ください

弾道チャート：R9 フェアウェイウッド 36yards



FCT弾道チャートの詳細はP13参照

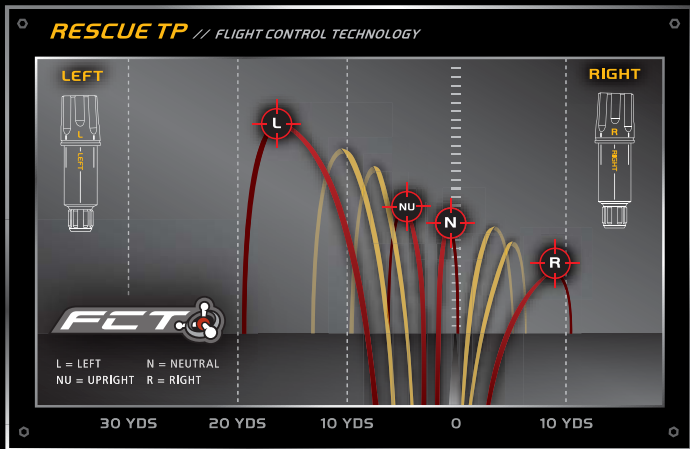
*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー 「L」ポジションをご選択ください

左打ちプレイヤー 「R」ポジションをご選択ください

弾道チャート：RESCUE TP 30yards



FCT弾道チャートの詳細はP13参照

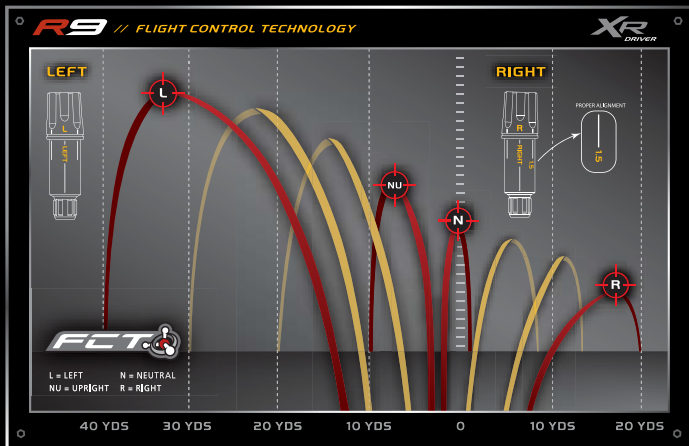
*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー …… 「L」ポジションをご選択ください

左打ちプレイヤー …… 「R」ポジションをご選択ください

弾道チャート： R9 MAX ドライバー
XR FCT ドライバー 60yards



FCT弾道チャートの詳細はP13参照

*FCTスリーブ上のマークの表示や弾道イメージ図及びクラブパフォーマンスに関する説明は、右打ちのプレイヤーを前提に解説しています。そのため、左打ちのプレイヤーの場合は左右に関する表示や用語使い及びクラブパフォーマンスに関する説明は逆転しますのでご注意ください。

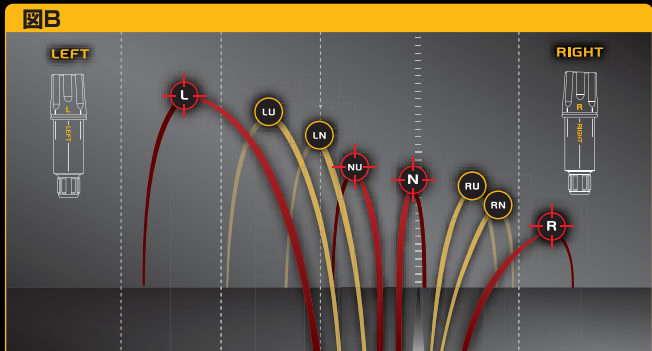
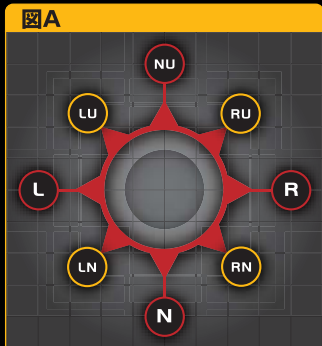
例) ハイドロボールが期待できるセッティングの場合

右打ちプレイヤー …… 「L」ポジションをご選択ください

左打ちプレイヤー …… 「R」ポジションをご選択ください

FCT弾道チャートの詳細

FCTスリーブのポジション名称と弾道イメージの関係は図A、図Bのようになります。



FCT:ヘッドの仕様(ロフト角・ライ角・フェースアングル)変更の方法

シャフトの仕様を変更するには、FCT用トルクレンチの先をヘッドソールのヒール側にあるFCTポートに取り付けてあるFCTスクリューの六角の星型の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込み、片手でFCT用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、FCTスクリューを時計回りとは逆に回転させて緩めてください。約8回転前後で緩みます。その際、FCTスクリューはFCTリングによりヘッドからは外れず、FCTスリーブはシャフトごとホーゼルから取り外す事が可能です。(P8:図1-a、1-b 参照)

次に選択したポジションをホーゼルのシリアルナンバーに合わせ、FCTスリーブの付いたシャフトをFCTスリーブの赤く塗られた先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込んで、(P8:図2-a、2-b 参照)、FCT用トルクレンチを用いてFCTスクリューを時計回りに回転させ締め、FCTスリーブをヘッドに装着してください。FCTスクリューは、完全に取り付けられたことを知らせるFCT用トルクレンチのカチッという音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。(FCTスリーブは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定できるよう設定されています。FCT用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはFCTスリーブの固定に必要なトルク量のみを配分するレンチ、という意味です。)

*MWT[®]用トルクレンチ(イエロー、シルバー)はFCTスリーブの固定に必要なトルク量は配分できませんので、FCTをご利用の際は必ずFCT用トルクレンチ(ホワイト)をご使用ください。(P4参照)

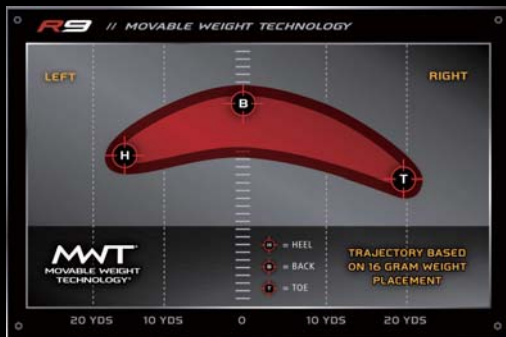


FCTスリーブを緩めるには時計回りと逆に回転させてください



FCTスリーブを締めるには時計回りに回転させてください

3 WEIGHTS MWT® 弾道イメージ

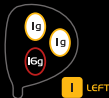


ウェイトカートリッジ ポジション



1g LIGHT WEIGHTED
(軽めのウェイトカートリッジ)

16g HEAVY WEIGHTED
(重めのウェイトカートリッジ)



弾道を変える

弾道の方向性を調節するには、トゥ側のMWT®ウェイトポートよりもヒール側のMWT®ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着すると、ドロー(左曲がり)の傾向が強くなります。逆にヒール側のMWT®ウェイトポートよりもトゥ側のMWT®ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着するとフェード(右曲がり)の傾向が強くなります。また、弾道の高さを調節するには、ヘッド前方側のMWT®ウェイトポートよりもヘッド後方側のMWT®ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着すると、高めが出る傾向が強くなります。また、逆にヘッド後方側のMWT®ウェイトポートよりもヘッド前方側のMWT®ウェイトポートに重めのウェイトカートリッジを装着すると、低めが出る傾向が強くなります。

- 例) 右打ちプレイヤー 重いウェイトをヒールに取り付けることで右から左の弾道
左打ちプレイヤー 重いウェイトをヒールに取り付けることで左から右の弾道

ウェイトカートリッジ

ウェイトカートリッジの取り外し、取り付け方法

ウェイトカートリッジをMWT®ウェイトポートから取り外すには、専用トルクレンチ（P4参照）の先をウェイトカートリッジの六角の星型の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込み、片手で専用トルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、ウェイトカートリッジを時計回りとは逆に回転させてください。ネジがゆるみウェイトが完全に外れましたらMWT®ウェイトポートから取り出してください。



ウェイトカートリッジを緩めるには時計回りと逆に回転させてください

ウェイトカートリッジをMWT®ウェイトポートに取り付けるには専用トルクレンチを用いてウェイトカートリッジを時計回りに回転させ締め、ウェイトカートリッジをMWT®ウェイトポートに装着してください。ウェイトカートリッジは、完全に取り付けられたことを知らせる専用トルクレンチのカチッという音が聞こえるまで、しっかりと回転させてください。

（ウェイトカートリッジは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定できるよう設定されています。専用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはウェイトカートリッジの固定に必要なトルク量のみを配分するレンチ、という意味です。）



ウェイトカートリッジを締めるには時計回りに回転させてください

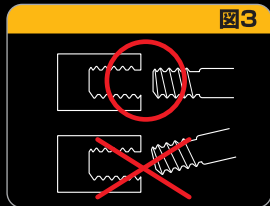
*白色のFCT用トルクレンチを使用し脱着することも可能です。(P4参照)

損傷を防ぐために

重要

FCTスクリューとシャフトに固定されたFCTスリーブ、及びウェイトカートリッジとMWT®ウェイトポートの損傷を防ぐため、以下を守ってください。

取り付け作業前に、FCTスクリューのネジ山とFCTスリーブのネジ溝、及びウェイトカートリッジのネジ山とMWT®ウェイトポートのネジ溝がまっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、個々の、あるいはそれぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。(図3参照)



取り外し、取り付けの最中には、専用トルクレンチの先がFCTスクリューやウェイトカートリッジの六角の星型の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。専用トルクレンチとクラブヘッドをしっかりと支えるよう、気をつけてください。



取り付け中、FCTスクリューやウェイトカートリッジが完全に取り付けられたことを知らせる専用トルクレンチのカチツという音が聞こえたら、専用トルクレンチの締め付け回転をやめてください。



損傷を防ぐために

TaylorMade[®]社製の専用トルクレンチ以外の器具による取り外しや取り付けを行わないでください。六角の星型のネジ穴がつぶれたり、または接続部分が破損することを避けるためです。また、MWT[®]用トルクレンチではFCTスクリューの脱着用としてご利用できませんのでご注意ください。ネジの緩みや破損の原因となり、クラブを正しく使用することができなくなります。(P4参照)



プレーまたは練習の前には毎回、クラブヘッドを注意深く点検し、シャフトやFCTスリーブ、ウェイトカートリッジが正しく装着されていることをご確認ください。FCTシステムにおいてFCTスリーブ下部の赤い色の部分がホーゼルより見えている場合には、FCTスリーブが正しく装着されていない事を示しています。(P3:P8:図2-a、2-b 参照)FCTスリーブがホーゼル内に、FCTスクリューがFCTポート内に、ウェイトカートリッジがすべてのMWT[®]ウェイトポートに完全に装着されていない限り、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

- ①土、ほこり、湿気、異物などがFCTスリーブ、ホーゼル、FCTポート、MWT[®]ウェイトポートのネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があり、シャフトやウェイトカートリッジの再装着を困難あるいは不可能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷を生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。
- ②FCTスリーブがホーゼルに、FCTスクリューがFCTポートに、ウェイトカートリッジがMWT[®]ウェイトポートに完全に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやウェイトカートリッジが外れる可能性があり、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。

重要

- ① FCTスリーブやウェイトカートリッジの取り外しは、仕様を変更する場合のみ行ってください。それ以外の場合は、ホーゼル、FCTスリーブ、FCTポート、MWT[®]ウェイトポートのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、各パーツを各ポートに装着したままにしておいてください。
- ② クラブヘッドのお手入れ時またはその他いかなる場合においても、ホーゼル、FCTスリーブ、FCTポート、空のMWT[®]ウェイトポートのネジ穴に液体が侵入しないよう注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、FCTスリーブやFCTスクリュー、ウェイトカートリッジは、それぞれのポートに正しく装着され固定された状態でなければなりません。
- ③ FCTスリーブやウェイトカートリッジの取り外しと取り付けは、異物が空のホーゼルやFCTスリーブ、FCTポート、MWT[®]ウェイトポートのネジ穴に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたFCTスリーブやウェイトカートリッジはそのまま装着せずに、やわらかい乾いた布等で拭いてからご使用ください。
- ④ ホーゼル、FCTポートやMWT[®]ウェイトポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底に異物が落ちないように、ネジの穴が下を向くように持ち、やわらかい乾いた布等で取り除きます。
- ⑤ シャフトに装着されたFCTスリーブの先端のネジ溝、また、ホーゼル内のFCTスクリューのネジ山やウェイトカートリッジのネジ山、及びMWT[®]ウェイトポートのネジ溝には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。潤滑剤が必要とされることはありません。
- ⑥ シャフトに装着されたFCTスリーブの先端及びウェイトカートリッジのネジ山は、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造、変更も決して行わないでください。完全な装着が妨げられる可能性が生じ、その結果、ヘッドやウェイトカートリッジがスイングの最中に外れた場合、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。
- ⑦ FCTポートにあるFCTリングにより止まっている、FCTスクリューを無理に取り外さないでください。

ウェイトカートリッジを外したままのプレイ、及び、ラウンド中にFCTスリーブポジションの変更、ウェイトカートリッジの交換を行わないでください。

- ① テーラーメイドのFCTスリーブの脱着とFCTスリーブポジションの変更ができる製品及びウェイトカートリッジの取り外しができる製品は、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるFCTスリーブポジションの変更やウェイトカートリッジの取り外しや取り付けをする行為は、規則第4条2a項「正規のラウンド中、クラブの性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。
- ② 穴のあいたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第II条4a項には以下のように規定されています。:「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢(rigid)で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされたがって規則上許されないものの例として、(a)クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」

スイングウェイト

スイングウェイトとは、クラブをスイングするときクラブに感じる軽さや重さのことです。ヘッドエンドとグリップエンド間の重量差が大きくなると、スイング時のクラブに感じる重さが増し、クラブのスイングウェイトが重くなります。ウェイトカートリッジを搭載したテーラーメイドのゴルフクラブでは、取り付けたウェイトカートリッジの総重量がウェイトカートリッジの交換により増えると、スイングウェイトが重くなります。スイングスピードの速いゴルファーの場合は、スイングウェイトを重めにすると、スイング中のクラブ位置をより正確に感じることができるため、コントロールを向上させることができます。スイングスピードの比較的遅いゴルファーでは、スイングウェイトを軽めにするとスピードを上げることができるため、距離を伸ばすことができます。ツアープロが使用するドライバーのスイングウェイトは、一般にD0からD7です。極端に剛性の高いシャフトを使用するツアープロは、通常クラブ位置の感覚を際立たせるために重めのスイングウェイトを選び、クラブヘッドの感覚を抑えたいツアープロは、既して軽めのスイングウェイトを選ぶ傾向にあります。

(例)

ウェイトカートリッジ重量合計

-8 g
-6 g
-4 g
-2 g

スイングウェイトポイント

-5
-3.75
-2.5
-1.25

基準

+2 g 1.25
+4 g 2.5
+6 g 3.75
+8 g 5

各SWの差は1.25ポイント

説明) 上表のように2gのウェイトカートリッジ重量差により1.25ポイントのスイングウェイトの違いが生じます。

japan.taylormadegolf.com

Customer Service Center 商品に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで
カスタマーサービスコール 0120-558-562・10:00～18:00 (月～金) ※祝日除く

For International versions of the R9 Manual, please visit this website :

www.taylormadegolf.com/R9manual

 **taylorMade**[®] テーラーメイド ゴルフ株式会社

japan.taylormadegolf.com